



## 「木の葉ブログ」(ビジネススキル強化お役立て情報)

「新入社員研修」の話題から(2013年4月13日投稿)

### 既成概念は、新しい知識を学ぶ際の妨げとなる新入社員研修 基本編②

新入社員研修で最初に披露することが多いのがこのお話です。本来なら本シリーズの1回目を書くテーマでしたが、話題性のあるイワシに先を譲りました。さて、このお話は、コップの理論として欧米で語れるものと重なりますが、カリアッパというラマ教の高僧と、財界人として活躍し、その後日本の指導層に影響を与えた中村天風氏が実名で登場するだけに、説得力が違います。

#### 不治の病を患い、魂の救済を求めて中村天風氏は世界中を旅した

まず、アメリカに渡り、それからヨーロッパに回り、失意のうちに航路日本に帰る途中のエジプトで、中村天風氏はラマ教の高僧・カリアッパ師と運命の出会いを果たします。師とともにラマ教の聖地に赴いた中村天風氏ですが、死の恐怖からは逃れられません。そこで、師の教えを今かいまかと待つのですが、師が一向に教えてくれる気配がないので焦り始めます。

#### 「先生、私には時間がないのです。一刻も早くご指導をお願いしたい」

必死の形相で迫る中村天風氏に、師は器に水を汲んでくるように命じます。それを持って戻ると、師は別の器にお湯を入れて持ってくるように命じました。再び中村天風氏がお湯の入った器を持って戻ると、師は「そのお湯を水が満たされた器の上から注げ」と命じたのです。そこで氏は反論しました。「私たち文明国の人間は、そうすれば水もお湯もこぼれることを知っています」と。

#### 「それを知っているのか。ならば、私が先刻言った言葉の意味がわかるはずだ」

そのとき、カリアッパ師は静かな口調でこう言ったそうです。それに対し、「わかりません」と氏。すると師は「あなたを連れてきた翌日からでも教えたいと思ったが、あなたの頭の中には既成概念がいっぱい詰まっていて、新しい知識を注いでも間違いなくすべてを溢れさせてしまっただろう。いまなすべきことは、満たされた器の水をカラにすることだ」と諭したのです。

#### 新しい知識を身につけるためには、古い知識がかえって邪魔になる

このことを悟った中村天風氏に、師は、「今夜から勉強を始めよう、生まれたばかりの赤ん坊のようになって来なさい」と語りかけたそうです。その日から2年7カ月、雪解けの水の中で座り続けるといった厳しい修行を経て、氏は遂にラマ教の真髓を会得することとなり、日本人としてただ一人のヨガの直伝者となったのです。帰国後の氏のご活躍は冒頭に記した通りです。



● 研修開始時にこのお話をすると、どの会社さんでも、ほとんどの新入社員がうつむき加減だった顔を上げ、これまでとは違った表情を見せてくれます。誰にも既成概念に縛られて、遠回りしてきた過去があるのでしょう。山本の場合、新入社員研修は短いお付き合い（長くて3日程度）が多いのですが、キャリアアップ師に導かれ、毎回充実した研修をさせていただいております。

参考文献：『運命を拓く』（中村天風著/講談社）

『意識革命のすすめ』（広岡達朗著/講談社）

ホームページ <https://www.leafwrapping.com/>

■ 研修、講演などのご依頼、ご相談は【プロフィール】（画面左顔写真下）の〈メール送信〉からお願いいたします。今回は「新入社員研修」の話題から。